

第1回

第9次雄武町社会教育中期計画策定委員会

議事録

【日時】 平成29年9月22日(金) 18:30~20:30

【場所】 雄武町民センター 2階会議室

【出席者】

委員	平野 秀樹 委員	安田 たみ子 委員	小林 康夫 委員
	竹田 浩二 委員	松永 裕香 委員	桑井 美彦 委員
	高橋 信一 委員	池 慶二 委員	増田 澄生 委員
	清水 伸一 委員	田口 洋 委員	中橋 綾子 委員
欠席者	山崎 穰 委員	麻生 賢一 委員	斉藤 由香利 委員
	三浦 健一 委員	平田 清恵 委員	長野 誠 委員
	川村 貴紀 委員	高宮 均 委員	村田 浩昭 委員
	須藤 佑貴 委員	豊田 七瀬 委員	竹花 樹菜 委員

事務局 豊田教育長 澤田教育振興課長 石山教育振興課長補佐
櫻井生涯教育係主査 小俣生涯教育係 齋藤社会教育主事

アドバイザー 北翔大学生涯スポーツ学部健康福祉学科
教授 谷川松芳 氏

- 【会議次第】
- 1 開会
 - 2 委嘱状交付
 - 3 教育長あいさつ
 - 4 委員長及び副委員長選出
 - 5 委員長あいさつ
 - 6 諮問書手交
 - 7 講義 北翔大学生涯スポーツ学部健康福祉学科 教授 谷川松芳 氏
 - 8 議事

【報告事項】

- (1) 雄武町社会教育中期計画策定委員会条例及び専門部会規則について
- (2) 雄武町社会教育中期計画策定委員会会議の公開について
- (3) 計画策定スケジュールについて

【協議事項】

- (1) 雄武町社会教育中期計画策定委員会会議の開催時間等について
- (2) その他
 - ①第9次雄武町社会教育中期計画策定に係る基本的な考え方
 - ②部会構成について

- 9 閉会

- 【配付資料】 資料1 雄武町社会教育中期計画策定委員会条例
資料2 雄武町社会教育中期計画策定委員会専門部会規則
資料3 計画策定の組織と手順の構造
資料4 計画策定スケジュール
資料5 第6期総合計画策定のためのまちづくりアンケート集計結果報告書
(教育委員会関係 抜粋)

1 開会

(澤田教育振興課長)

皆様、こんばんは。只今より第9次雄武町社会教育中期計画策定委員会の第1回会議を開催いたします。お仕事でお疲れのところ、また夜分にもかかわらずお集まりいただきありがとうございます。本日、欠席の連絡を受けておりますのが、社会教育委員の山崎雄武中学校校長先生、社会教育委員の三浦健一さん、スポーツ推進委員の須藤祐貴さん、同じくスポーツ推進委員の竹花樹菜さん、スポーツ推進審議会委員の長野誠さんから欠席の連絡を受けております。会議の進行にあたりまして、4ページに資料1を記載させていただいております。雄武町社会教育中期計画策定委員会条例、第4条第2項におきまして、委員長は策定委員会の議長となり会務を総理すると規定されております。会議次第の7が終わるまで進行を努めさせていただきます教育振興課長の澤田と申します。どうぞよろしく願いいたします。議事に入ります前に教育長から委嘱状の交付を行います。各委員の席を順に回りますので、ご自身の前に来た時にご起立いただきまして、委嘱状の交付を受けられますようお願いいたします。なお、最初の方のみお名前と発令文をお読みいたしますが、その後につきましては同文でございますので発令文の読み上げを省略させていただきます。

(教育長から出席委員に委嘱状を交付する)

(澤田教育振興課長)

それでは続きまして、雄武町教育委員会豊田教育長から御挨拶申し上げます。

(豊田教育長)

改めまして、お晩でございます。第9次雄武町社会教育中期計画策定委員会の開催にあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。本日はお忙しい中、またお仕事等でお疲れのところお集まりいただきましてありがとうございます。皆様方には日頃から本町におけます教育の発展、充実に御協力を賜り厚くお礼申し上げます。只今、本町社会教育中期計画策定委員会委員の委嘱状を交付させていただきました。約半年足らずの短い期間の中で策定していただかなければならないことに対しまして、ご苦労をお掛けすると思っておりますけれどもどうぞよろしく願いいたします。さて、この中で社会教育委員の皆様方には先の会議におきまして、現代の社会教育が生まれ、発展してきた経緯など少しお話させていただいたと思っておりますけれども、戦後の日本を建て直し民主的な平和国家、文化国家を作り、また地域社会を作ってきたのは、社会教育であると言っても過言ではないというふうに私は思っております。社会教育は住民が主体的かつ自発的に行う学習活動ですから、行政はその学習活動を支援するという役割があり、それが公民館や図書館の社会教育施設であったり、それらの施設で行われる各種講座や講演会であったりした訳で、行政の役割は大変大きいものであります。しかし、今は時代が変わりまして社会が成熟、成長し情報通信技術の飛躍的進歩によって行政の手を借りずとも住民自ら必要な情報を得ることが容易となり、また

個々の学習活動も多様化が増し、高度化がされておりますことから行政がそれに着いていくことが大変難しくなっているということが現実であるというふうに思います。そのようなことから社会教育行政の社会教育使命は終わりを告げたという専門家もおりますけれども、決してそうではなく、人はどうして学ぶのかということを考えたとき、生きがいを持って健康で楽しく暮らすため、そして地域を豊かにするというところに辿り着き、そこに導くことが現在の社会教育行政に課せられた使命であるというふうに私は思っております。その使命を果たすための社会教育中期計画策定にあたりましては、社会教育が専門でいらっしゃいます北翔大学の谷川松芳先生をアドバイザーとしてお願いしておりますが、先生におかれましてはご多忙の中、お引き受けいただき大変感謝申し上げますとともに、本町の社会教育中期計画策定について本町に合った適切なアドバイスをいただきますようお願いを申し上げます。終わりに社会教育行政の仕事は住民に学習を進めることと私は解釈しておりますが、この厳しい時代にあっても確固とした見通しや方針がなければそれも有効なものになりませんので、この度の社会教育中期計画策定におきましては、その根底を見出し、本町社会教育の一層の充実につながるよう皆様の専門的な知識、見識等を十分発揮されますことをお願い申し上げます。

(澤田教育振興課長)

それでは、続きまして会議次第の4の委員長及び副委員長の選出でございます。皆さんにお諮りしたいと思います。どのように選出したら宜しいでしょうか。

(小林委員)

事務局に一任します。

(澤田教育振興課長)

ただいま、事務局一任というお言葉をいただきました。よろしいでしょうか。

(全委員)

よろしいです。

(澤田教育振興課長)

それでは、事務局から腹案をご提案いたします。

(齋藤社会教育主事)

それでは、事務局(案)といたしましてご報告いたします。委員長につきましては、社会教育委員の竹田委員をお願いしたいと考えております。また、副委員長につきましては、スポーツ推進審議会委員の田口委員をお願いをしたいと思います。よろしく願いいたします。

(澤田教育振興課長)

只今、事務局から提案いたしました委員長には竹田委員、副委員長には田口委員ということがあります。皆さんのご了承をいただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(全委員)

異議なし(拍手)

(澤田教育振興課長)

ありがとうございます。

それでは、委員長に竹田委員、副委員長に田口委員と決めさせていただきます。只今選出されました竹田委員長から御挨拶をいただきたいと思いますが、お願いいたします。

(竹田委員長)

皆さん、お晩でございます。策定委員会の委員長として指名されました社会教育委員の竹田でございます。不祥ですね私が委員長ですが、皆さんの意見を取りまとめて9次の策定をしてまい

りたいと思います。この中期計画ですけれども皆さんご承知のとおり3つの部会、社会教育と芸術文化と生涯スポーツと部会3つに入っていて、策定をしていく訳ですが今までの中期計画と違うところが、来年、再来年ですか新図書館が出来ますのでそういった新図書館を中心にした社会教育または生涯学習といったものを図書館をベースにして策定していきたいなあと考えておりますので、皆さん忌憚りの無い意見をどんどん出していただいて、より良い中期計画を策定してまいりたいと思いますので何卒よろしく願いいたします。

(澤田教育振興課長)

ありがとうございました。続きまして教育長から計画策定に係ります諮問書を委員長に手交いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

(豊田教育長)

諮問書を読み上げ、竹田委員長に手交する。

(澤田教育振興課長)

それでは、つづきまして会議次第の7、本策定委員会のアドバイザーをお引き受けいただきました北翔大学生涯スポーツ学部健康福祉学科教授であります谷川松芳先生にご講義をいただきます。先生の職歴につきましては議案3ページに記載されておりますが、長年、各自治体において教育委員会社会教育主事として現場でご活躍されておられます。それでは、先生よろしく願いいたします。

(谷川松芳先生)

お晩でございます。ご紹介いただきました谷川松芳です。・・・・・・・・

講義内容については、省略。

(澤田教育振興課長)

先生、どうもありがとうございました。先生には今日の講義だけではなく、これからの策定の中で様々なアドバイスを頂戴したいと考えております。折角の機会ですので質問とかあれば承りますが、どなたかいらっしゃいますか。何かあれば事務局のほうにご連絡いただければ、先生に確認しお返ししたいと思います。それでは、ここから議事に入りますが、竹田委員長よろしく願います。

(竹田委員長)

こんにちは。谷川先生本当にありがとうございました。改めて社会教育・生涯教育の概念を勉強させていただきまして、改めて生涯学習っていうのは人づくり、地域づくりなんだなと思います。9次ですけれども、その時代にあった地に足のついた中期計画を作りたいと思っています。本日は、どうもありがとうございました。それでは改めて、第9次雄武町社会教育中期計画の会議を始めたいと思います。議事のほうに入らせていただきます。報告事項3点、協議事項1点とその他2点あるということです。報告事項1点目が雄武町社会教育中期計画策定委員会条例及び専門部会規則については関連があるので続けて報告し、2点目ですが雄武町社会教育中期計画策定委員会会議の公開について、3点目ですが計画策定スケジュールということでございます。事務局の方から説明願います。

(齋藤社会教育主事)

お配りしておりますレジュメの部分ですが、4ページになります。雄武町社会教育中期計画策定委員会の条例でございます。これの3条になりますが、策定委員会の委員につきましては、社会教育委員、スポーツ推進委員、スポーツ推進審議会委員、その他教育委員会が必要と認めた者であり、先程皆さんにご委嘱をさせていただいたところです。また、5ページになります。専門

部会の部分になっております。後ほどお話をさせていただきますが、3つの専門部会に分けての部分の規則ということでございます。以上です。

(澤田教育振興課長)

会議の公開についてということでございます。雄武町におきましては様々な協議会、委員会こういう会議をするにあたりましては、公開・傍聴に関する条文が整っているのですが、この中期計画策定委員会条例は、平成19年に作られておりますが、公開についての根拠となる条文が無いということで、公開・傍聴ができない。社会教育の在り方について検討する会議でありますので、町民に対しても広く知らしめることが必要かなと考えております、現在会議を公開する、また傍聴することができるという制度を作る作業を進めております。次回の会議までには公開に関する規定をお示ししたいと考えておりますのでご報告をさせていただきます。

(齋藤社会教育主事)

続きまして、(3)番目の計画策定スケジュールについてでございます。資料の6ページになります。まず資料3ですが、計画策定の組織と手順の構造ということで表のほうに記載しております。今日の段階で、委員の皆様へ委嘱状の交付をさせていただき、計画の策定に係る諮問をさせていただいたところです。今後、全体会議がございまして、専門部会等の会議を経て教育委員会に答申という運びになるということでございます。また、7ページの資料4につきましては、策定のスケジュールになります。ここに記載している策定のスケジュール等の会議につきましては全体会議を主として書いてございますので、この間に専門部会が入っていくということでございます。答申の期限が3月19日ということでお願いしておりますので、答申をお願いいたします。また、8ページの資料5から22ページまでにつきましては、第6期の総合計画策定のためにまちづくりアンケート、教育委員会関係を抜粋したものでございますので、これにつきましては、お帰りになって今一度、目を通していただいて、今後における策定計画のご参考にしていただければというふうに思っております。以上です。

(竹田委員長)

以上、事務局から報告事項3点説明していただきましたが、何かありませんか。

公開規定のことについては、次回の会議でということで。報告事項はこれで終わらせていただいてよろしいですか。

(全委員)

はい。

(竹田委員)

次、協議事項です。1点目、社会教育中期計画策定委員会会議の開催時間等について、2点目はその他ですが基本的な考え方と部会構成について、事務局から説明をお願いします。

(澤田教育振興課長)

まず1点目、開催時間等についてでございます。本日の会議は午後6時30分から開催を設定という形ですが、この会議の開始時間についてご協議をいただければと思います。例えば7時00分の方が良いとか6時00分からとか、会議の運営に関しましては、例えば曜日を何曜日にしてほしいとか、要望があればお願いします。後、会議の開催時間の長さでございますが、一般的に審議会もしくは委員会この種の会議につきましては、最大2時間という認識をこちらでは持っております。当然、議論が白熱することもありまじょうが、概ね2時間ということが一般的でございますので、お諮りいただければと思います。よろしく願いいたします。

(竹田委員)

事務局から開催時間、曜日、会議の時間の案が出ましたけれども、まず開催時間なんですけど社会教育委員の会議は従前は7時00分から開催だったのですが、皆さんお忙しい中出席していただいて、帰りも遅くなるということで、6時30分にさせていただいてほぼ2年ほど経ったのですが、中期計画策定の会議につきまして、6時30分が宜しいのか、6時00分が良いのか、7時00分が良いのかということなんですけど、皆さんのご意見等聞きたいところなんですけど。6時30分で差支えがないでしょうかね。6時00分のほうが良い方、居られませんか。やっぱり早すぎますか。主婦の方とか。

(高橋委員)

私は、6時30分で良いですよ。

(竹田委員長)

6時30分で良いとの意見をいただきましたが、宜しいでしょうか。

(中橋委員)

子どもがいますので、準備などがありますので6時30分だと。

(竹田委員長)

やはり、7時00分のほうが良いという。

(桑井委員)

私は仕事やってそのまま大変申し訳ない、お腹が空いてしょうがないんですね。食事、単身で来てるから食事をしてからでないとか来れないし、仕事柄これから教職員の人事のことが始まるんで、私が直接対応しなければならぬものですから、なかなか6時30分、6時00分からは無理だと思ってしまうので食事を食べてちょっとお腹一杯になったところで来たほうが良いかなど。過去2年間6時30分とお聞きした訳ですが、それで支障がなければいいですけど、ご家庭をお持ちの方ですとかご婦人の方はやっぱり7時00分のほうが良いのではないかなと思うんですが。

(竹田委員長)

出来るだけ、出席される方が多く参加されることを思っておりますので、すみません7時00分のほうが都合良いということなんですけど。

(高橋委員)

7時00分で良いよ。

(竹田委員長)

じゃ、開催時間を7時00分からということで。必ず7時00分には開催いたします。そのことだけご確認だけお願いします。曜日に関してですけれどもこの曜日が都合が悪いとかありますでしょうか。むしろ、会議の開催日を出来るだけ早く宣言していただけるとたぶん皆さんのスケジュールもできるだけ調整が付くかと思えますけれども、どのくらい前のアナウンスが出来るでしょうかね。2週間前とか。遅いです。

(安田委員)

忘れてしまいそう、2週間前なら。

(竹田委員長)

1週間前ならきついですけど。せめて10日前に開催日のアナウンスをしていただくということ。時間をスムーズに進めるために前もって資料を配布願うが、出来る限りで結構ですので。10日前で資料も出来るだけ。

(清水委員)

もっと早いほうが良い。

(竹田委員長)

もっと早いほうが良い。

(清水委員)

忘れるからというのは、ちょっと、そういう意見は。

(安田委員)

すみません、金曜日じゃないほうが。

(竹田委員長)

金曜日じゃないほうが良い。金曜日以外ということで宜しいですか。

大体、会議の内容は概ねやはり、事務局から言われましたとおり、2時間ちょっぴり終わることでは無いですが、ただ出来るだけスムーズに時間をある程度決めて進めていければ、概ね2時間を目処にやっていきたいと思えますし、できるだけ次回、その場で考えるのではなく、できるだけ宿題を持って来たときには自分の意見なり主張が出来るような体制を作りながら2時間の範囲で会議を閉めさせていただきたいな思えます。以上、開催の時間帯等々につきまして、このような内容で進めさせていただいて宜しいでしょうか。

(全委員)

宜しいです。

(竹田委員長)

その他の2点、お願いします。

(齋藤社会教育主事)

その他の①になります。社会教育中期計画の策定に係る基本的な考え方については、23ページから26ページのところに記載をさせていただきました。生涯学習並びに社会教育というようなことにつきましては、先程谷川先生のほうから講義をいただきましたので割愛させていただきました。基本的な視点の部分で記載をしております。会議そして専門部会等を開催した中で皆さんのいろいろな意見を集約をして進めてまいりたいと考えておりますので、基本的な流れとしておさえていただければと思います。その都度会議の席上でご説明をしながら会議を進めていきたいと考えておりますのでご了解いただければと思います。また、②の部会の構成につきまして27ページになります。規則にございます3部会、社会教育部会、芸術文化部会、生涯スポーツ部会の3部会で、それぞれ今の皆さんの委員の立場等、専門性を鑑みて専門部会にお願いをしたいと考えておりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。また、社会教育部会並びに芸術文化部会、生涯スポーツ部会の部会長及び部会長代理者ということで決めようというふうにはいたのですが、今日はお集まりのほうもなかなか少ないということもございまして、第1回目の専門部会が開催されたときに、各部会長並びに部会長代理者を決定させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(竹田委員長)

今、事務局から説明がありましたその他の部分ですが、中期計画の基本的な考え方ということで谷川先生から講義の話にあった最初は白紙でもいいのかなと、それから皆さんからたたき台をどんどん上げたときに基本計画の文章にはまってくるのかなという感じもしています。基本的なおさえについては、ほぼ皆さんおさえていることだと思いますので、次の策定会議の時には、まあこれに拘らずに、これから将来少子高齢に向かってですねもっとこうといった考え方もあるんじゃないかと。

ないかということもあるでしょうから、皆さんこういった忌憚りの無い意見をいただきたいなと思っております。後は部会の部会長を決めるということだったんですが、今事務局から言われましたとおり本日の会議の参加者が少ないということで次回の時に決めさせていただきたいということで宜しいでしょうか。

(全委員)

はい。

(竹田委員長)

それでは、以上報告事項3点、協議事項2点とその他2点ということで、ひと通り終わりましたけれど、全体をとおして何かご意見等ありましたら承りたいと思います。

よろしいでしょうか。それでは第1回目の社会教育中期計画の会議を終了いたします。谷川先生どうもありがとうございました。本日はどうもご苦勞様でした。